



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・手作り広場外で遊びたいべした／山形うえるかむ号 11月の運行予定
- ・福島県情報 おたがいサマーマおしゃべり会 in ふくしま
- ・宮城県情報 大漁旗舞う進水式
- ・山形県情報 けらっしゃい号／岩手宮城交流会／庄内いも煮会
- ・コラム しあわせココロのつくりかた①
- ・キッズレター ・おすすめ情報 ・おうえんメッセージ
- ・みんなの声 ・ひと休み ・編集部より ・避難者受入状況

第28号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 4,000部

手作り広場 外で遊びたいべした

市栄町のサイトウ洋食店からコックさんが来県し、わんぱく広場に手作りで作られたピザ釜を使用して本格的なピザを焼いてくれました。

広場に点在する大きなテーブルを囲み、初めてお会いするママ同士でも話が弾んだようです。子ども達はそれぞれ自由に遊び、なごやかな交流会となりました。

「わんぱく広場ソトデアソビダイベシタ」は、福島駅から車で40分という立地条件を活かし、福島に残る人と山形に避難する福島の人、山形の人などが集う場



10月26日、米沢市梓山の「わんぱく広場ソトデアソビダイベシタ」を会場に、芋煮とピザを食べながら交流会がおこなわれました。

主催は、NPO法人おいたたまサロンの「Teamり」とる福島inおいたたま。ママたちが芋煮を作り、支援団体連合会「二For One Project」と米沢市民が調理や喫茶コーナーを手伝いました。また、福島



所として利用者が手作り整備している広場です。NPO法人おいたたまサロン代表の竹田仁さんは、「今年は、ピザやバーベキューが行えるアウトドアエリアを整備中です。来年は、リバーサイドエリア、アスレチックエリアを整備する予定です。いろんな遊びをやりたいと、お父さんやお母さん、お子さん、スタッフがいろいろ考えています。遊びたい人が手作りで作る広場です。

福島からの日帰り保養での活用も考えています。寺子屋を作る事や万が一の廃炉事故時の一時避難拠点となる事も考えています。大勢の人に関わってほしい。」と語ってくれました。少しずつ実現している目の前の光景に、夢と希望が沸き上がりました。(遠藤)



福島ー山形をつなぐ週末移動支援バス「山形うえるかむ号」11月の運行予定

11月～12月は毎月第3土曜日・日曜日に運行します(完全予約制です。前日夜8時までにご予約ください)

[申込み方法]

メール(shienbus@gmail.com)のタイトルに「支援バス予約」と入力し、本文に、氏名、携帯電話番号、避難元と避難先の住所、乗車日、乗降場所、乗車時間、同乗人数(大人〇名、子ども〇名)を記載して送信してください。

shienbus@gmail.comに件名「時刻表希望」と送ると(本文不要)、時刻表が自動返信されます。右のQRコードを読み取り、そのまま送信してください。



11/17(土)・12/15(土)

山形発	発車時刻	福島発	発車時刻
○山形駅(東口)	8:00	○福島駅(西口)	10:30
○山形県庁裏	8:10	○福島県庁	10:40
△丸好果樹園前	—	○丸好果樹園前	—
△福島県庁	9:40	△山形県庁裏	12:10
△福島駅(西口)	9:50	△山形駅(東口)	12:20

11/16(金)・12/14(金)

福島発	発車時刻
○福島駅(西口)	19:30
○福島県庁	19:40
○丸好果樹園前	20:00
△山形県庁裏	21:50
△山形駅(東口)	22:00

11/18(日)・12/16(日)

福島発	発車時刻	山形発	日曜②高速便
○福島駅(西口)	17:30	○山形駅(東口)	20:00
○福島県庁	17:40	○山形県庁裏	20:10
○丸好果樹園前	—	△丸好果樹園前	—
△山形県庁裏	19:10	△福島県庁	21:40
△山形駅(東口)	19:20	△福島駅(西口)	21:50

～山形と福島で離れて暮らす家族、山形を保養で訪れる家族のための移動支援バスです～

○山形に避難している方とその家族や近親者、友人(避難している方に会う目的に限る)

○福島から山形へ週末保養やリフレッシュ目的で訪れる家族 ※ビジネスや観光・ショッピング等目的での利用は出来ません。

公共交通機関をご利用ください。

※協力金(500円程度)を任意でお願いしています。

※1月～3月の降雪時期は増便を計画中です。

【問合せ・申込み】 絆の架け橋推進協議会 ☎ 090-3756-9755 (本田携帯) ○乗車のみ △降車のみ

主催: 絆の架け橋推進協議会(土日便)、山形ボランティア隊(金曜便) 後援: 山形市 協賛: 山新観光(株)、山交バス(株)、(有)サイトシーイング蔵王、めばえ(株)

「つながろう! ささえあおう! 復興支援プロジェクトやまがた」事業は、「山形県平成24年度復興ボランティア支援センターやまがた運営補助金事業」の補助を受けて活動しています。うえるかむ28号は、山形県生命保険協会様より一部助成を受けて発行しています。

From 福島

おたがいサマー おしゃべり会inふくしま



10月14日、福島市のMAX福島4FにあるA・O・Z(アオウゼ)和室にて、「おたがいサマーおしゃべり会inふくしま」が開かれました。

代表の菅野美由喜さん(福島市在住)は「最初はネットだけの繋がりがしかなかく、県内で放射能が心配だけど誰にも言えず、悩んでいる方たちと会って話す機会を持ちたい」と

という思いから、ママさん同士が繋がれる「おたがいサマーM@ふくしま」を立ち上げました。

今回で2回目となるお話し会。12名のお父さん、お母さんが集まりました。市民放射能測定所のスタッフさんから今までの食品測定結果に基づき、気を付けたい食べ物のお話や測定してほしい食品項目など話合いました。一人のお母さんは「食品を買う時、産地が分からない時は、お店の方に聞くようにしています。聞くお母さんが多いほどお店の方も産地表示をしてくれるようになると思います」とお話ししてくださいました。

山梨県で福島の子どものため保養支援をしてくださっている方々からの新鮮な野菜も届き、箱いっぱいのお買い物。子ども達、家族の為に安心な野菜を食べさせたい!という同じ気持ち。そして強い繋がりが感じられました。

最後に代表の菅野さんは「みんなの無理なく、自分たちのできる範囲で細く長く続けていきたい」と語ってくれました。



From 宮城

大漁旗舞う進水式

宮城県沿岸部は、復興に向けて少しずつ前へ進んでいます。沿岸被災地と内陸部とでは少しずつ意識格差が生じて来た様に思えます。問題は、まだまだ山積みです。

ただ、県外の人が解決で出来る事ではなく、私達、宮城県民、被災者が、仕事や家族や家や町を「復興」をどうやって行くのかが問題です。

そんな中、南三陸町にて、新しい漁船の進水式がおこなわれました。30本以上の大漁旗がたなびき、沢山のお酒が届きました。町を離れ遠方の仮設住宅に住む方や、ボランティアの人も駆け付けました。このご家族の人柄も去ることながら、地域みんなが御祝いし喜んでいました。宮城の漁業が再開され、新鮮な美味い魚を沢山食べる事ができる日を待ち望み、希望を持ち歩んでゆきます。(k)



From 山形

けらっしゅい号



11月2日、絆の架け橋推進協議会が主催する「けらっしゅい号芋煮&温泉ツアー」が開催されました。招待されたのは東松島市と石巻市の仮設住宅に住む40名の方々。上山市「化石の森」付近の河原を会場に、上山市民20名と参加された方々が一緒に芋煮を作り、みんなでいただきました。

お腹がいっぱいになった後は蔵王温泉へ。冷え込んだ蔵王では今年初の降雪もあり、紅葉と初雪のコラボを眺めながら温泉と買い物を楽しみました。

「今までは外に出る気になれず、今回初めてこういう企画に参加してみた」という方もおり、少しずつ本当の笑顔が戻りつつあることを実感できるツアーでした。(海)

シアワセコラム



しあわせココロのつくりかた ①

カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理

誰も心配事がある時には、心がそこから離れられず、気持ちがマイナスへと向かいやすいものです。不安が募りイライラが増し、問題が積み重なっていくケースはよくあること。

さて、今、心に翳(かげ)を落としている問題は、現実に関心していることでしょうか? 恐怖の未来を描き、心患わせる人が増えています。「先取り不安」に陥り、今の大切な瞬間を失うより、まず今を味わい楽しむ心を育みましょう。

日々の疲れやストレスから、喜びを感じる力が低下している大人たち。五感を磨き、楽しむ心を養い、しあわせを引き寄せる心づくりが大切です。まずは笑顔の美しい自分づくり。そこから次に繋がる笑顔が生まれます。

岩手宮城避難者交流会

10月24日、山形市避難者交流支援センターで「岩手宮城避難者交流会」が開催されました。

石巻市から来られた方などが参加し、避難所生活の苦労話や住宅再建への希望、イベントに参加した様子などの話題で盛り上がる中、宮城県職員の参加もあり、後半は和やかな質問タイムになりました。

山形から石巻の仮設住宅に転居する可能性や公営復興住宅への入居の見通しなど、具体的な説明もあり、ほんの少し将来への不安が軽減されたようです。参加された方からは、「宮城県職員の方が来てくれてありがたい。宮城の状況がよくわかった。」という感想が聞かれました。

残念ながら、岩手県から避難される方の参加はありませんでした。共通の話題や悩みを話せる場として多くの方に参加していただきたい。(E)



避難者・支援者交流

庄内のいも煮会開催

10月14日(日)、

鶴岡市京田地区コミュニティ防災センターで、鶴岡市に滞在する避難者と、避難者支援に関わった市民の交流会が開催されました。



鶴岡市ボランティアアセンターが主催し、約百人が参加しました。「鶴岡市に滞在する避難者の皆様のために何か協力したい」というJA鶴岡女性部の皆さんの全面的な協力で、味噌仕立ての庄内のいも煮を、会場の全員で味わうことができました。

福島や宮城でも秋には「芋煮会」を楽しみますが、同じ味噌仕立てと言っても、具材や調理過程がやや違うようで、その違いを語り合ったり、庄内で言う「油揚げ」は福島や宮城では「厚揚げ」だとか、食文化の違いを興味深く、支援者と避難者で楽しみに語り合う姿があちこちのテーブルで見られました。

地元「おもしろマジッククラブ」のマジックを見た後には、ミュージシャンで音楽セラピストである、緑水の森被災地被災者支援活動代表、大谷哲範氏の演奏とトークを楽しみました。(鶴岡市K)

みんなの声 motto

26号の宮城県の方からのメッセージについてなど、読者の方からの感想や声を紹介します。

●宮城県から自主避難されている方のメッセージを読んで、とても申し訳なく、切ない気持ちでいっぱいになりました。放射能汚染問題……現実実は福島県だけの問題ではないと思います。確かなことは放射能と人は共存しては生きていけないことです。子どもを守りたい!という親心は一緒です。きっと、福島県以外からの自主避難者さんは今でも肩身のせまい思いをしているのではないでしょう。か。子を思う親同士、交流がもてることを願っています。(二本松市↓山形市)

●記事を拝見し、胸が痛みました。同じ苦しみで避難を余儀なくされているのに支援の手が薄いのはさぞかし理不尽に感じられたのでは。お辛かったです。私でよければいつかお会いしたいです。(郡山市↓山形市)

●福島に帰ることを決意した今、子どもがまた元の学校でうまくやっていけるか心配しています。他にも心配ごとが沢山なのに、帰らなくてはならない現実。(郡山市↓山形市)



「そろばんでがんばるよ!」

そろばんで三きゅうになれるように、いっしょにいれたいしゅつしてがんばる。三きゅうになったら、おねえちゃんといっしょにだじゅれいな。そして、三きゅうになれたらおねえちゃんをぬかして、一きゅうになれるようにいっしょにがんばりたいな。

(小学2年 伊藤乃愛)



「みんなの声」につぶやきを送ろう

メール kizuna@yamagata1.jp、タイトル「みんなの声」で送信してください。以前と今のお住まいの市町村も添えてね。



あすめ情報

■音楽ひろば～音楽は心の栄養・音楽を通して子育てしませんか

乳幼児期は、音に敏感な時期です。生の「音」を楽しみ・ふれあいながら表現力を身につけ、感性豊かな子育てをしませんか。後半は、交流タイム。生活に役立つ情報交換の場です。

対象児：生後2ヶ月～3歳児のお子様と保護者の方
定員：15組 ※親子参加です。おじいちゃん、おばあちゃんも大歓迎！
日時：第2・第4月曜日 10:30～11:50

※開催日は変更となる場合がございます。

場所：みんなのひろば プリモ・パッソ（山形市木の実町2-17）
料金：月額2,520円（月2回）

※市民会館駐車場ご利用の方に、100円分を補助いたします
※被災者の方に限り、平成24年度の登録料¥1,050 無料

[申込み・問合せ] NPO法人アジェンダやまがた
TEL 023-679-4045 URL <http://nanoka.info/>

■みんなでうたう会 練習参加者募集(ママさんコーラス)

山形県外より避難して来られているお母さん方と、もとより山形で暮らしておられるお母さん方が一緒に歌う会です。練習にはお子さん連れで参加していただいて大丈夫です。

日時：11月22日(木) 18:45～20:30

場所：山形市総合福祉センター 2F交流ホール
(山形市城西町2-2-22 TEL:023-645-9234)

対象：歌ってみたいお母さん(「BELIEVE」を歌います)
音楽や合唱の経験者、未経験者ともに大歓迎です。

参加費：楽譜コピー代など50円程度の予定。

持ち物：飲み物、筆記用具、必要に応じてお子さんの物
(おもちゃ・本・宿題等)

その他：参加していただける方はお名前と子ども同伴の有無を事前に連絡いただくとありがたいです。

[問合せ] TEL:090-8942-6502 (山川)

※平日は19:00～21:00にお願い致します。

E-mail: believe_utaikai@yahoo.co.jp

[置賜地域]

■食の安全フォーラム in 置賜

テーマ 食品中の放射線物質について理解を深めよう

1. 基調講演「食品中の放射性物質による健康影響について」
2. パネルディスカッション及び意見交換

日時：11月28日(水) 13:30～16:00(開場13:00～)

会場：置賜総合文化センター(米沢市金池3-1-14)

参加料：無料 申込締切：11月20日 主催：山形県

[申込み・問合せ] 置賜総合支庁 生活衛生課

TEL:0238-22-3740

Mail: yokitamaseikatu@pref.yamagata.jp



■たけの子祭り

サテライト保育をしている「青空幼稚園たけの子」のお祭りです。以下のプログラムは誰でも参加できます。

プログラム：わらべうた、くすだまわり、パン食い競争、クロスカントリー(年齢別競技:景品有)、宝さがし(植物あてゲーム)、昼食(味噌汁無料)、10円お店屋さん&バザー(出店可)

日時：11月25日(日) 9:30～13:00

場所：(財)農村文化研究所 米沢市六郷町西藤泉71-12

参加費：大人300円、小学生以上100円、幼児無料

申込み〆切：11月23日(金)

[申込み・問合せ]

青空幼稚園(辺見) TEL:080-3347-7126

[庄内地区]

■録画(DVD)上映会「医師：肥田舜太郎氏講演会～放射能に負けないで生きぬこう！～内部被曝といのちを考える」

日時：11月17日(土) 午後6時半より

会場：にこふる(鶴岡市泉町5-30)

11月25日(日) 午後1時半より

会場：勤労者会館(鶴岡市泉町8-57)

参加費：300円 ※学生高校生以下は無料

*講演会に参加できなかった方、上映会に是非おこしください。

*託児等についてはお問い合わせください。

[申込み・問合せ]

フクシマの子どもの未来を守る家事事務局

TEL 080-6023-7490

■岩手・宮城・福島 ☆転入ママのお茶会☆

ワイワイと楽しいお茶会です♪初めての方でも大歓迎!

日時：11月26日(月) 10時～12時

場所：にこっとスタジオ(酒田市二番町7-8)

参加費：100円 ※申込み要

[申込み・問合せ]

NPO法人にこっと

〒998-0045 酒田市二番町7-8

TEL/FAX 0234-23-6330

ブログ URL <http://nicottohir.exblog.jp/>



ドキュメンタリー映画『石巻市立湊小学校避難所』

山形県上映会

テレビならまっさきにカットしてしまいそうな日常の風景と本音のつぶやき。フツーじゃないのにフツーみたいに。家族じゃないのに家族みたいに。心で泣いて一緒に怒って一緒に笑った。石巻市立湊小学校の避難所の6ヶ月。



(公式サイトより抜粋)

■米沢会場：11月23日(祝) ※託児あり

会場：九里学園高校・教育センターホール

上映開始：14:00～ 上映後：藤川監督トークショー

問合せ：米沢地区勤労者福祉協会 TEL0238-21-5250

■新庄会場：11月24日(土)

会場：ゆめりあホールアベージュ

上映開始：18:50～ 上映前に監督トーク

問合せ：湯治舎 TEL 0233-45-2856

■酒田会場：11月25日(日)

会場：ひらたたらんセンター

上映開始：13:00～ 上映後、監督出演のトーク

問合せ：生涯学習施設「里仁館」TEL0234-61-4361

■山形会場：12月8日(土)

会場：シベールアリーナ

上映開始：13:30～ 上映後：藤川監督トーク

問合せ：シベールアリーナ TEL023-689-1166

■鶴岡：11月24日(土)～30日(金)

会場：鶴岡まちなかキネマ

上映開始：14:00～(11月24日のみ13:00～監督トーク)

問合せ：鶴岡まちなかキネマ TEL 0235-35-1228

※料金その他詳細は直接お問い合わせください

[全ての地区]

■ 福島県から避難している母子のための保育料助成金

助成対象：福島県第一原発の事故により、福島県から山形県内に避難されている世帯

助成条件：①お子様を保育園へ預けて、お母様が就労、または就職活動しておられること。(助成開始後3か月以上経過してもお母様が就職できない場合は再審査をさせていただきます。就労時間の目安：月60時間以上) ②どこからも保育料の助成を受けていないこと。③あいびい保育園入園者・保育士を除く。
助成額：1世帯につき月極保育料の半額助成(上限2万5千円)
・上記金額を毎月、I V Yから直接保育園に振り込みます。
・一時預りは対象になりません。

対象世帯数：50～60世帯

助成期間：平成24年11月～平成25年4月(最長6ヶ月)

選考方法：面接を行い、決定致します。

面接場所：認定NPO法人 I V Y 事務所

(山形市荒楯町1-17-40 TEL:023-634-9830)

[申込み・問合せ先] 認定NPO法人 I V Y あいびい保育園
〒990-0021 山形市小白川町1丁目15-28

TEL:080-3191-9514 Mail:ler04525@nifty.com

URL:http://ivyhoikuen.jimdo.com/

■ 放射線の健康影響に関する勉強会および質問会開催

山形県に避難されている方々を対象にした「放射線の健康影響」に関する勉強会と質問会を計画しました。ぜひご参加ください。

講演内容：

第一部 原子力と放射線の基礎 松本英樹(福井大学・准教授)

第二部 放射線の健康影響 渡邊正己(京都大学・名誉教授)

第三部 福島の汚染の現状 宇佐美徳子(高エネルギー加速器研究機構・講師)

第四部 質疑応答 渡邊 正己(京都大学・名誉教授)

定員：各回40名程度 参加費：無料

主催：日本放射線影響学会福島原発事故対応委員会

<第5回>

日時：11月21日(水)9:30～12:30

会場：米沢市置賜総合文化センター会議室

(米沢市金池三丁目1番14号)

<第6回>

日時：11月22日(木)9:30～12:30

会場：山形市総合スポーツセンター ミーティングルーム

(山形市落合町1番地)

※山形県民の方もご参加いただけます。

※お子様をお連れになっても問題ありません。

※疑問を解消できるまで何回でもご参加いただけます。

※事前の申し込みは不要です。当日会場にお越しください。

[問合せ] 渡邊正己 京都大学名誉教授

606-8501 京都市左京区吉田近衛町

京都大学放射線生物研究センター

TEL:075-753-7551 FAX:075-753-7568

Mail:mism@rbnet.jp



[村山地区]

■ HONNE KATARU 交流会

みんなで胸の中にある気持ちを語り合い、これからのことを見つめてみませんか? イベントに参加したことがない方、知り合いがいない方でも安心して参加できる交流会です。

日時：11月30日(金)10:30～12:00

場所：山形市霞城公民館2階研修室1B(山形市城西町二丁目2-15)

対象：原発事故による影響のため山形に避難された方

参加費：無料

[第一部]おはなし…話題提供者 郡山市在住 横田清美さん

[第二部]交流会…グループに分かれて語り合ひましよう

人数：先着20名(CLOSEDの会です。傍聴はご遠慮ください)

託児：8名(無料)※先着順、事前にお申し込みください

申込み方法：郵送、FAX、メールのいずれかにて下記にお送り下さい。電話の場合は平日9時～14時まで受け付けています。

①氏名(ふりがな)②年齢/性別③住所④連絡先

⑤避難前の居住市町村⑥託児希望の有無と性別、年(月)齢

[申込み・問合せ] 絆の架け橋推進協議会 事務局

TEL070-5471-5646(平日9～15時)FAX023-674-7312

Mailmail@kakehashi.yshien.net

URLhttp://tsunagarou.net/kakehashi/

■ あいびい保育園 園児申込受付中!!

福島のお母さんたちで作る、福島子どもたちと働くお母さんのための保育園です!

場所：山形市小白川1丁目15-28

対象：福島から避難しておられるお子様

対象年齢：6ヶ月～就学年齢前(H18年4月～24年3月生まれ)

保育時間：8:00～18:00(土・日・祝祭日・年末年始はお休み)

保育料金：

●月極保育 お子様の年齢に関わらず、一律1人10,000円

※11月より価格変更いたしました。

●一時預かり 0～2歳 半日/1,500円、1日/2,000円
3～6歳 半日/1,000円、1日/1,500円

※一時預かりには、ご登録が必要です。詳細はお問合せ下さい。

※昼食代、おやつ、保険料金は保育料金に含まれています。

昼食：保育園で用意します。(食材にこだわる「森のたんぼ」さんをお願いしております。)

保険：賠償責任保険、傷害保険に加入します。

[問合せ] 認定NPO法人 I V Y あいびい保育園

〒990-0021 山形市小白川町1丁目15-28

Mail:ler04525@nifty.com

TEL:080-3191-9514 担当：濱本、今野



うえるかむは県内各地で設置しています

復興ボランティア支援センターやまがた/山形県各総合支庁・市町村窓口/山形県庁1Fロビー/山形市内の公民館・コミュニティセンター(28施設)/山形市避難者交流支援センター/山形市総合福祉センター/山形テルサ/百目鬼温泉/ままカフェ@home/山形市民活動支援センター/イオン山形南店/おーばん山形東店・山形嶋店・山辺店/生活協同組合共立社(CO-OP)(山形県内)/米沢市避難者交流センターおいで/米沢市児童会館/米沢市すこやかセンター/書店HARATOKU(米沢市)/鷹山の湯(米沢市)/おいたまサロン/道の駅いでめざみの里観光物産館/天童市避難者サロン/フローラ寒河江1F避難者交流ひろば/東根市タントクルセンター/鶴岡市立図書館/酒田市公益活動支援センター/元気玉プロジェクト推進本部(福島県会津若松市)/うつくしまNPOネットワーク(福島県郡山市)/東北自動車道菅生PA(宮城県柴田郡) 郵送して下さる市町村が増えてきました!ご協力、ありがとうございます!

やまがたの避難者受入状況 2012.11.1 現在

合計 11,121名

福島県から 10,522名 宮城県から 538名 その他の県から 61名

[村山地域]	[最上地域]	[置賜地域]	[庄内地域]
山形市：4,357名	新庄市：77名	米沢市：2,950名	鶴岡市：345名
上山市：213名	金山町：8名	長井市：270名	酒田市：350名
天童市：684名	最上町：13名	南陽市：355名	三川町：18名
寒河江市：446名	舟形町：11名	高島町：310名	庄内町：13名
村山市：51名	真室川町：3名	川西町：52名	遊佐町：16名
東根市：329名	大蔵村：0名	小国町：7名	
尾花沢市：15名	鮭川村：3名	白鷹町：23名	
山辺町：48名	戸沢村：2名	飯豊町：52名	
中山町：20名			
河北町：57名			
西川町：3名			
朝日町：12名			
大江町：7名			
大石田町：1名			



★10月18日から11月1日までで129人減少しました。
★この人数は山形県が発表したものです。市町村で把握している人数と異なる場合があります。

鶴岡市の oughenメッセージ 生活支援相談員さんより



鶴岡市社会福祉協議会では、地域福祉課の多田係長、山本、沼澤、生活支援相談員志賀の4名で避難者支援の事業を進めております。毎週の情報紙発行の他、定期・不定期の交流会の企画・運営、支援を希望する市民と避難者の方の橋渡しをしたり、訪問などでもお困り事の解消に努めております。お気軽にお問い合わせください！

山形県に避難しているすべての方へ

つながろうNET



本紙の情報だけでなく、リアルタイムなおすすめ情報やイベント情報、うえるかむスタッフや支援者さんのブログなどを掲載しています。
モバイル、スマホOK!

<http://tsunagarou.net/>

休日保養のホームページができました

福島などにお住まいの皆さんも山形でゆっくり過ごしていただけるいろいろな企画がありますよ!



<http://tsunagarou.net/hoyou/>



復興ボランティア
センターやまがた



Twitter



@fukkou_center

ひと休み

冬至と言えば・・・

あずきかぼちゃ



<材料>

かぼちゃ 1/4個
小豆 100g
砂糖 200g
塩 少々



<作り方>

- 鍋に小豆と水を入れ、中火で煮る。煮立ったら一度水を捨て、さらに水を入れて煮る。
- 小豆が軟らかくなるまで、水を足しながら煮る。
- ②に砂糖を入れてさらに煮る。
- かぼちゃは種を取り、好みの大きさに切って③に入れ、柔らかくなるまで煮る。
- 塩を少々入れ、味をととのえてできあがり。



レシピ提供：在来作物案内人 鈴木淳子さん

支援センターのサイトをご覧ください→ <http://kizuna.yamagata1.jp/> 編集部より

次号は11月28日発行です

おすすめ情報や記事の投稿は
12月12日号分を
11月26日まで受け付けます!

避難者向けフリーペーパー「うえるかむ」

発行元：つながろう! ささえあおう!

復興支援プロジェクトやまがた

〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号

「復興ボランティア支援センターやまがた」

TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312

E-mail kizuna@yamagata1.jp

WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

●11月は娘たちの発表会ラッシュ! 小学校から始まり、コミュニケーションセンター文化祭で習い事のダンス発表、そして幼稚園の発表会♪一生懸命、練習をして頑張っているのでもっと楽しみたい。どうか、風邪をひきませないように! ☆(じゅんちゃん)

●風邪をひきやすい季節になりました。2週間連続で風邪をひき、そのたびに発熱し辛い思いをしました(泣) 体調管理しつかりしなければ...反省!(みほっち)

●夜にお米のご飯だけを食べないダイエットで2kg減量に成功。宿泊研修で二晩ご飯を食べたら2kgリバウンドしました...(E)

●震災から1年8カ月の今月、ようやく石巻の旅館さんが復興オープンします。壁や床がなかったのに...ホント、言葉にできない。(菊)

●「発行部数10万部突破してますね」と言われて初めて気付いた。そんなになったのかと改めて感動...少しはみなさんのお役にたっているでしょうか?もっと細やかな情報を載せていきたい、みなさんの声を多くの人に伝えたいと願うばかりです。(海)

